

シラバス参照

科目名	経営史Ⅱ
配当年次	1年次
開講期間	後期
単位数	2
担当教員	辻 智佐子(ツジ チサコ)
期間・曜日・時限・教室	後期 水曜日 5時限 17-306

※	
授業の目的・目標	<p>【授業の概要】:この講義は、日米の小売業を事例に経営史的視点からその歴史を見ていき、産業発展のプロセスについて考える。</p> <p>【授業の目的】: この講義は、「経営史Ⅰ」のつづきとして講義をすすめる。20世紀は、大量生産技術が確立・普及し、その結果流通過程においても大きな変化が生まれた時代である。大量消費型の流通を実現した、いわゆる「流通革命」は、従来の流通のしくみを変えていったわけであるが、授業では前期と同様に「20世紀はいかなる時代だったのか」について流通業を事例にとり上げながら、経営史・経済史的視点から考察していく。そしてこの講義を通して、現在われわれが直面している様々な経済問題に対して解決の糸口を見つける。</p> <p>【習得できる力】: ①.知識 ⑤.論理的思考力 ⑪.生涯学習力</p> <p>【授業の到達目標】:小売業について日米の発展史について理解し、産業発展のプロセスについて経営史的視点から理解する 【実務経験と授業内容との関連】:特になし</p>
準備学習等の指示	この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要である。また、課題提出はWebclassを用いる。 * 授業で配布する参考文献一覧のなかの専門書に目をとおり、事前に予備知識をつけておくこと。また、授業で配布されるレジュメや資料をつかって、毎回復習することをすすめる。
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】問題提起(ガイダンス) 【到達目標】この講義のテーマについて理解する 【準備学習】配布の参考文献一覧をチェックする</p> <p>■2回目 【テーマ】前期講義内容の復習 【到達目標】「経営史Ⅰ」の復習において、20世紀の世界経済について概要的に理解する 【準備学習】前期授業のノートを振り返り復習する</p> <p>■3回目 【テーマ】経営史の理論的枠組み 【到達目標】「経営史」の理論的支柱となっている理論について理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■4回目 【テーマ】戦後世界経済のあゆみ(1):アメリカと西欧諸国 【到達目標】アメリカを軸に据えて、戦後の世界経済について理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■5回目 【テーマ】戦後世界経済のあゆみ(2):アメリカと日本 【到達目標】戦後の日本の歩みをアメリカとの関連において理解する 【準備学習】4回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■6回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(1):アメリカの流通業の歴史 【到達目標】事例としてアメリカ流通業を取り上げ、アメリカの流通業の歴史を戦前戦後を通して理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■7回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(2):アメリカの特殊事情が生んだ巨大流通企業 【到達目標】なぜアメリカで早期に流通革命が起こったのかを理解する 【準備学習】6回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■8回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(3):ウォルマートの出現 【到達目標】事例研究として、ウォルマートの歴史的発展について理解する 【準備学習】7回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■9回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(4):サム・ウォルトンとウォルマート 【到達目標】創業者のサム・ウォルトンに着目し、人物、思想、戦略などについて理解する 【準備学習】8回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■10回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(5):ウォルマートの経営 【到達目標】ウォルマートの成功要因とは何だったのかを理解する 【準備学習】9回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■11回目 【テーマ】事例・日本の流通業(1):日本の流通業の歴史 【到達目標】事例として日本の流通業を取り上げ、日本における流通業の歴史を理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■12回目 【テーマ】事例・日本の流通業(2):日本の「流通革命」とダイエー 【到達目標】事例研究としてダイエーを取り上げ、戦後日本の流通革命について理解する 【準備学習】11回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■13回目 【テーマ】事例・日本の流通業(3):中内功とダイエーの成長 【到達目標】創業者・中内功に着目し、人物、思想、戦略などについて理解する 【準備学習】12回目の講義内容を復習し、関連する参考文献を読む</p>

	<p>■14回目 【テーマ】事例・日本の流通業(4): コンビニエンスストアの登場 【到達目標】日本のコンビニエンスストアの歴史について理解する 【準備学習】13回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■15回目 【テーマ】事例・日本の流通業(5): セブンイレブンにみるコンビニエンスストアの発展 【到達目標】日本のコンビニエンスストア業界でトップのセブンイレブンをとり上げ、その強さの秘訣を理解する 【準備学習】全体を振り返り、この講義のテーマについて改めて復習する</p>
教科書	特に指定しない。
参考文献	アダム・スミス、杉山忠平訳『国富論』全4巻、岩波書店、2000～2001年；アーノルド・トインビー、塚谷晃弘他訳『英国産業革命史』邦光堂、1951年；アルフレッド・チャンドラー、鳥羽欽一郎他訳『経営者の時代』上下巻、東京経済新聞社、1979年；安部悦生『経営史』日本経済新聞社、2002年；阿部謹也『自分のなかに歴史をよむ』筑摩書房、1993年；伊藤光晴他『シュンペーター』岩波書店、2002年；猪木武徳『戦後世界経済史』中央公論新社(中公新書)、2009年。その他、詳細は開講後にWebclassの資料にて一覧をアップ。
授業の方法	<p>授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。(該当以外を消してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問答法(学生の意見やアイデア、学習理解状況を聞いて、それを基に授業を進めていく) ・PBL ・反転授業 ・ディスカッション・ディベート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・実習、フィールドワーク <p>なお、本授業では授業の双方向性と皆さんの学びを可視化するために、Teams等でのチャット機能やFormsを活用した授業を実施します。</p>
成績評価方法	<p>【評価方法・割合】定期テスト[筆記テスト](80%)、平常点(20点)</p> <p>評価の基準について、(1)筆記・レポートは①論理的に書かれているか、②授業内容に沿っているかなどを基準に評価する、(2)平常点とは主に授業へのコミットメントの度合いである。筆記テストの解答についてはWebclassにて掲載する。。</p>
オフィスアワー	水木金のお昼休み、及び事前連絡より適宜対応。
居室	17号館312教室(辻研究室)； メールアドレス ctsuij@josai.ac.jp
ホームページ	特になし。
その他特記事項	【ナンバリング : MAN213J】「経済史概論Ⅰ・Ⅱ」も合わせて受講していただきたい。
添付ファイル	